

## 5. みどりのベルト計画の実現に向けて

---

### 1. みどりのベルトづくりを新たな緑化運動として広げていく必要があります。

- この計画は、多くの区民に目的や意義が理解され、緑化活動や管理運営の面でも協力が必要です。そのため、啓発活動や区民活動支援など、区民・事業者・区の三者が協力し合って運動を広げていく緑化施策を総合的に展開します。

### 2. まちづくり事業と連携したみどりのベルト形成を進める必要があります。

- みどりのベルト計画のモデルとなるパイロット地域の緑化手法や、区域ごとのまちづくり事業の中で、みどりのベルト形成指針等を定めます。

### 3. 都市の生態系を保全する視点から、樹林や農地などの多様なみどりを結ぶ必要があります。

- 生き物の注目種を選び、目標とした動植物を呼び戻す自然環境の保全・回復や生物の多様性を目指します。

### 4. みどりを結び連続したベルトにしていくため、みどりのベルト計画用地を確保する必要があります。

- 公園の整備や市民緑地の設置など、面的な用地を確保してみどりの拠点を増やし、身近なみどりのベルトをつなげます。また、区内に残る貴重な自然環境保全地を調査し、必要があれば買い取りを検討します。

### 5. みどりの条例などを見直し、みどりのベルト計画を支える制度を整える必要があります。

- みどりの条例を改正し、みどりのベルト計画を推進する新たな制度の創設や緑化助成、みどり協定など、区民活動を促進する仕組みを充実します。また、みどりの基本計画の部分見直しやみどりのリサイクルプログラム策定など、みどりのベルト計画を支える体制を整えます。

### 6. みどりのベルト計画を実施していく区の事業計画を定める必要があります。

- 骨格となるみどりのベルトや身近なみどりのベルトの形成、区民協力による樹木管理など、それぞれの目標を実施計画として定め、区の事業計画として展開します。

## 6. みどりのベルト計画パイロットプラン

---

みどりのベルト計画は、区内全域で実現していくことが目標です。そのため、当面区内のまちの特性を踏まえ、みどりのベルトを形成していく見本としてパイロット地域を定め、様々なベルト形成活動を実施します。そして、本計画の目指す姿が具体的に見られるようになれば、区内のモデルとなり、他の地域での活動の広がりにつながると考えます。

そこで、みどりのベルト計画の具体化と推進に向け、パイロットプランを作成しました。

### パイロット地域の設定

パイロット地域は以下の視点から選定を行いました。

- ①みどりのベルトに期待される5つの効果が発揮される、あるいは発揮することが期待できる地域であること。
- ②区民協力による計画の具体化を前提とすることから小学校通学区域を単位とすること。
- ③区のまちの特徴を示す、モデルとなる地域であること。(保全型・密集改善型・市街地整備型)
- ④現在、まちづくり計画・事業などが進行中の地域であること。
- ⑤骨格となるみどりの要素を含み、その計画内容を検討できる地域であること。
- ⑥できる限り多様な要素を含む地域であること。

#### 桃井第四小学校通学区域

台地上に位置し、区域中央に善福寺公園があり、樹林や農地、みどり豊かな住宅地が残る、みどりと水に恵まれた区西部の特徴がよく現れた地域です。地域の中央に、外かく環状道路が計画されています。

#### 杉並第八小学校通学区域

高密度の市街地であり、オープンスペースが少なく、河川も暗渠化され、みどりと水が乏しい中央線沿線及び区東部の特徴がよく現れた地域です。高円寺駅周辺が交通バリアフリー基本構想の重点整備地区となっています。また、地域住民のまちづくりへの関心も高い地域です。

#### 高井戸東小学校通学区域

神田川沿いに斜面林や民間のグラウンド等、多様なみどりの要素を含み、今後まちづくりなどが考えられ、区南部の特徴がよくあらわれた地域です。(仮称)杉並南中央公園や補助幹線215号の計画があります。



図 - 5 パイロット地域